

★地域づくりに取組む地域自治組織・NPOの皆さまに新春お年玉！

第23号

「りょうぜん里山がっこう」で「人材育成スキルアップ講座」開催！ 1月10日朝10時から午後4時まで一日通しのカリキュラム！ 「きらりよしじまネットワーク」高橋由和事務局長が手ほどきします！

「地域経営」を担う「地域全世帯加入NPO」の「カリスマ事務局長」が講師を務める実践講座

・講師の高橋由和さんは、山形県川西町で地域の全世帯が加入し、行政から「地域経営」を委ねられている全国でもユニークなNPO法人「きらりよしじまネットワーク」の事務局長ですが、「カリスマ事務局長」と異名がつくほど、全国に知られた方でもあります。

・これに対し今回の講座を主催する「NPO法人りょうぜん里山がっこう」理事長・高野金助さんが高橋さんに白羽の矢を立てたのは、地域づくりが担える人材を生み出す講座を実現するには、事業展開・組織運営・人材開発とも実績が申し分ない高橋さんに一切お任せすべきだと考えたから。実際高橋さんはこの講座の1週間後には、全国から300名の参加者を募っている「地方創生・小さな拠点学校」（東京港区で開催！）の講師に招かれている人気者なのです。

「基調講演」プラス「ワークショップ」で「持続可能な、地域づくりスキル」を身につけよう！

・面積約16km²、人口約2,600、世帯数約720、自治会数22、これが山形県川西町吉島地区のプロフィール。その「地域経営」を担っているのが「NPO法人きらりよしじまネットワーク」ですが、2007年にこのNPOを地域の皆さんと立ち上げ、組織を編成し、事業を展開し、人材を育て、10年後の現在に導いて来たのが事務局長・高橋由和さんなのです。

・講座は高橋さんのこれまでの実績をフルに活かした実践的カリキュラムです。午前の2時間は「基調講演+ワークショップ」。住民の、住民による住民のための地域づくりをいかに立ち上げ持続させるか、いわば「小さな拠点づくり」のノウハウを学びます。

・約1時間の昼食休憩をはさみ、午後は60分単位で「3連続のワークショップ」。「課題の探り方」から「解決法の見つけ方」そして「活動の組立て方、組織の運営」まで、「参加者の地域課題」を素材にしたワークショップを続けます。全カリキュラムを高橋事務局長が手ほどきしてくれます。間違いなく「地域づくりスキルが身に付く」1日となるでしょう。参加申し込みはこちらへ。参加費は昼食代の500円だけです！→→→



活動・事業一覧

活動・事業一覧

- ・自主防災組織事業
- ・介護予防と生涯学習事業
- ・地産地消・交流事業
- ・地域環境保全運動
- ・子育て支援・青少年健全育成事業
- ・講習会・研修会
- ・地域のスポーツ拠点づくり
- ・地域まつり活性事業

活動・事業一覧

- ・自主防災組織事業
- ・介護予防と生涯学習事業
- ・地産地消・交流事業
- ・地域環境保全運動
- ・子育て支援・青少年健全育成事業
- ・講習会・研修会
- ・地域のスポーツ拠点づくり
- ・地域まつり活性事業

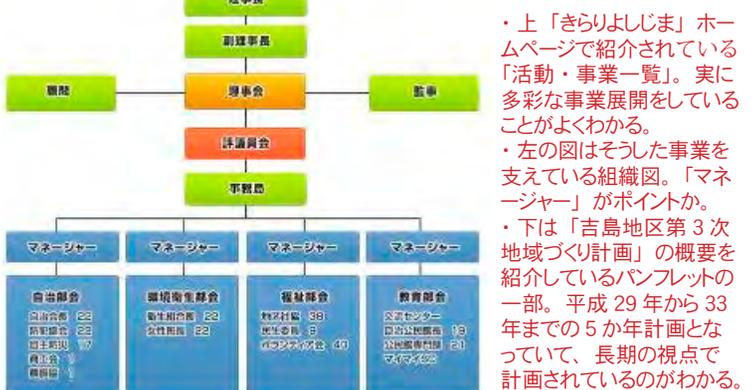


高橋由和事務局長

視察研修
講師派遣
のご案内

インターネットショップ
出品者募集

きらりよしじまネットワーク
賛助会員募集



・上「きらりよしじま」ホームページで紹介されている「活動・事業一覧」。実に多彩な事業展開をしていることがよくわかる。

・左の図はそうした事業を支えている組織図。「マネージャー」がポイントか。

・下は「吉島地区第3次地域づくり計画」の概要を紹介しているパンフレットの一部。平成29年から33年までの5か年計画となっていて、長期の視点で計画されているのがわかる。

自治体

1 住民参加による交流活動の促進

- ・交流から生まれる交流活動の促進
- ・交流から生まれる地域特産品の販路拡大

2 地域課題を解決した地域内循環による産業の活性化

- ・雇用創出、産業団体等と連携した地域産業の活性化
- ・新しい雇用創出と仕事づくり

3 住民の安定・安心の地域づくり

- ・防災・防災意識の向上と防災力の強化
- ・集会所等の活用による自治体活動の活性化

吉島地区 第3次地域づくり計画

平成29年度～平成33年度



・参加申し込み先→「NPO法人りょうぜん里山がっこう」
TEL：024-587-1032 FAX：024-587-1082
メール：info@date-satoyama.com

<「地域づくり」「市民活動」関係者にとって、とてもうれしいNEWS 2題をあらためて報告します！> **「28番目の地域自治組織」「保原中央自治振興会」が発足！** **「だてな未来を、えがこう！」に小学生から300点超の夢プラン！**

うれしいNEWSのひとつは「市内28番目の地域自治組織」として「保原中央自治振興会」が10月1日発足したこと。もうひとつは「NPO法人ターナー会」が募集した「だてな未来を、えがこう！」に市内小学生から300点を超えるプランが集まったこと。どちらも「地域づくり」「市民活動」にとり、改めて報告したいうれしいNEWSです。

伊達市内最大の「地域自治組織」が保原で稼動！ まず住民アンケート調査を実施して、只今集計中！

・人口約12,000、町内会の数36という、伊達市内で最大の規模となる保原町中央エリアに去る10月1日、待望の「地域自治組織」が発足しました。正式名称は「保原中央自治振興会」。初代会長には、伊達市議、二六町内会会長、保原町町内会長会会長を歴任し、設立準備会会長も務めた一条恒男さんが就任。「総務企画」「健康福祉」「地域づくり」「環境防災」「社会教育」の5つの専門部会を軸にした活動が始まりました。発足稼動に際してのスローガンは「健康と個性が創る活力と希望あふれるほばら」。「保原中央自治振興会」最初の活動は地域住民を対象にした住民意識調査でした。調査票の回収も順調で現在、集計分析中。住民アンケートを生かしたこれからの活動に期待が集まります。

「路面電車をふっかつさせよう！」小学生たちが、 白地図に描いた、だてな未来の夢がいっぱい！

・「NPO法人ターナー会」は平成29年3月機関紙で白地図を配り「だてな未来を、えがこう！」と市内小学生に呼びかけました。これに応じた作品がなんと300点を超えるほど！その中から「優秀作品」が発表され市役所シルクホールで一般公開。12月発行の「TURNER24号」にはそれが掲載紹介されました。
 ・市長賞（右写真）の植田晶仁さんの作品には「路面電車をふっかつさせよう」の提案も描かれる等、白地図の作品には、小学生の皆さんの夢多き未来がいっぱい描かれていました。私たち大人たちには、その夢をひとつでもふたつでも、実現してあげることが求められている、とするのは考え過ぎでしょうか？

(1)平成29年11月22日 保原中央自治振興会だより 第1号



祝 10月1日発足

保原中央自治振興会 会長 一条恒男

29.11.22発行 発行責任者

●保原中央自治振興会機関紙第1号
 発足後の11月に発行された機関紙第1号には、会長挨拶、市長祝辞とならんで、各部のスローガン、さらに5つの専門部会の部長抱負が掲載されています(写真)。なお保原中央自治振興会の事務所は、保原中央交流館の2階です。

各部のスローガンと抱負

健康と個性が創る活力と希望あふれるほばら

健康福祉部 部長 大石洋介

地域づくり部 部長 山本 隆

環境防災部 部長 山本 隆

社会教育部 部長 山本 隆

総務企画部 部長 山本 隆

「だてな未来を、えがこう！」に小学生から300点を超える夢プランが集まりました。市長賞を受賞した植田晶仁さんの作品には「路面電車をふっかつさせよう」の提案も描かれる等、白地図の作品には、小学生の皆さんの夢多き未来がいっぱい描かれていました。

「伊達市の健康まちづくりを考える」事業

わたしが考える、だてな未来

優秀作品発表

伊達市長賞 植田晶仁さん (男10歳)

伊達市の健康らしさ(白からあつたもの、自然、地域にあったもの、そしてこれらから作ってほしいもの)がふんだんに盛り込まれた伊達市をめぐる夢が溢れる夢のあるものに仕上がっている作品です。



地域自治組織・NPOの皆さんへ…「年末調整」「給与支払報告書」をお忘れなく！

●左のような封書が伊達市から届いていませんか？ 地域自治組織やNPO法人で、給与を支払ったことがある団体には必ず届いています。この封書以前に税務署から「年末調整」関係書類も届いているはず。これらの手続きは新年1月が締切(伊達市は19日)ですから、忘れずに手続きしてください。不明な点は「支援センター」でもサポートします。



伊達市市民活動支援センター

電話番号：024-583-2800 FAX：024-583-2820

○開館：毎週・月～土曜(日曜休館)
 午前9時～午後6時 新年は1月4日から

伊達ふれあいセンター3階まで